研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	神経機能病態学特論Ⅰ・Ⅲ	三原 雅史

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1,2,3,4	特論Ⅰ：必須専攻 特論Ⅲ：選択	特論Ⅰ：4（2/年）， 特論Ⅲ：1/年	

目的

多くの文献を読み，その中から重要な論文を選択して，批判的な解釈を加えた上で，紹介するというプロセスを通して，筋ジストロフィーをはじめとする多様な神経内科疾患の分子病態，診断法，新規治療法に関する最新の知識を理解することができる。

授業到達目標

（1）文献検索など的確な情報収集ができる。
（2）state of the art の価値ある文献が選別できる。
（3）研究の背景について的確なブリーフィングができる。
（4）論文内容を適切に要約して紹介できる。
（5）論文のデータを批判的に解釈できる。
（6）自らの臨床や研究へ応用することができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	木	8:00-9:00	三原 雅史	講義	[抄読会]	神経内科学の全般にわたる最新の知見，画期的な発見，新規診断法や治療法の開発などに関する英文文献を紹介する。 [場所:本館棟 11 階中カンファレンス室]

評価方法

【特論Ⅰ】
（1）１年間※で 30 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
【特論Ⅲ】
（1）１年間※で 15 時間出席し，科目責任者から履修手帳に出席印をもらい，提出する。
（2）１年間※で，論文紹介または症例発表を２回行い，その要約２編を提出する。
ただし，特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものとは異なる論文（症例）であること。
特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。
※１～３年生は２月末まで，４年生は 11 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。

課題（レポート等）に対するフィードバック

論文紹介のプレゼンテーションに対する質疑応答を通じて，フィードバックを行う。

教科書

ISBN-0195063643, Pathology of Skeletal Muscle（2nd Edition）, Stirling Carpenter・George Karpati, Oxford University Press, 2001

参考書

ISBN-9784784950652, 臨床のための筋病理（第 4 版増補）, 埜中　征哉, 日本医事新報社, 2014

準備学習（予習・復習等）

（1）予習：取り上げる論文の背景となる知識を教科書で学習しておく。（約 60 分）
（2）復習：紹介した論文の要約を作成する。できるだけ多くの関連論文を読む。（約 60 分）

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

論文を批判的に読む訓練により，科学的方法論・思考法を習得することは，ディプロマポリシーの(1) 課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉している，に対応している。

注意事項・メッセージ

研究テーマに関連したマイルストーンとなる論文や質の高いジャーナルに掲載された最新論文を定期的に読む習慣を身につけて下さい。